

スピノサウルス全身骨格の設置について

1 経緯

スピノサウルスは、北アフリカの約1億年前（後期白亜紀の初頭）の地層から化石が発見されている獣脚類です。全長が14メートルに達したと推定されている最大級の獣脚類の一つで、細長い頭骨や背中の大きな帆などの特異な姿のため、古くから注目されてきました。また、円錐形の歯をもつことなどから、魚類を捕食していたのではないかと考えられてきました。しかし、命名に用いられた化石標本が戦争で失われたこともあり、その全体像は長い間よくわかっていませんでした。

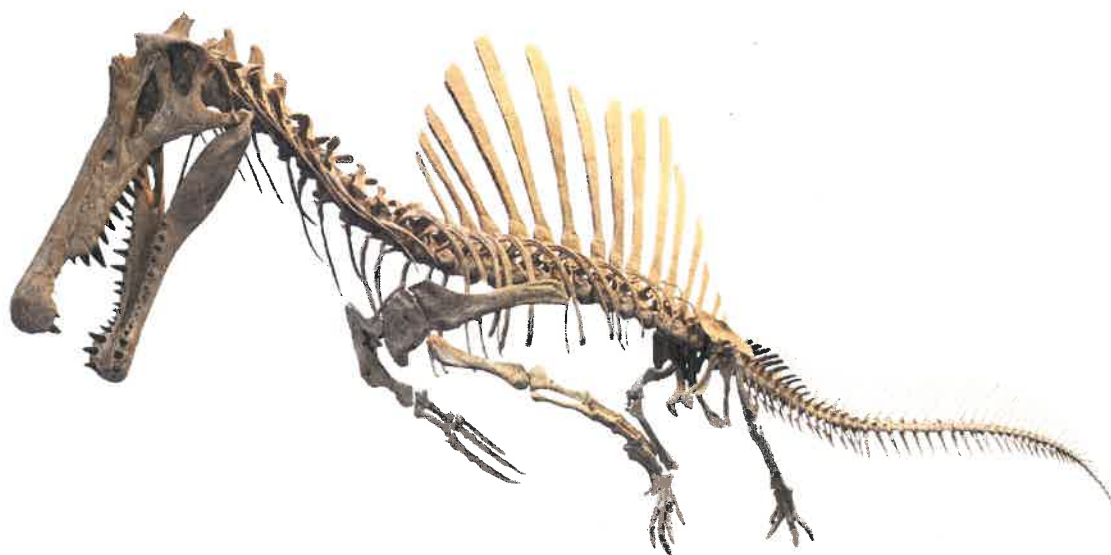
一方で近年、モロッコで新たな化石が発見されたことなどにより、それまで多くの謎に包まれていたスピノサウルスの姿が徐々に明らかにされています。特に2020年の研究では、スピノサウルスの尾が上下に幅広い形状をしていることなどから、他の獣脚類とは異なる半水棲の生活様式であった可能性が高いことが示されました。

今回の特別展では、「スピノサウルス科の進化」ゾーンの目玉として、上記の「半水棲説」に基づいた最新復元によるスピノサウルス全身骨格を、特別展示室天井からの吊り下げにより、空中を泳いでいるかのような迫力ある演出で設置します。（日本初公開）

2 展示標本

(1) 学名	<i>Spinosaurus aegyptiacus</i> (スピノサウルス・エジプティアクス)
(2) 分類	竜盤類 獣脚類 メガロサウルス上科 スピノサウルス科
(3) 時代	後期白亜紀
(4) 産地	エジプト、モロッコなど
(5) 全長	約14メートル
(6) 所蔵	Higher Visions GmbH (ドイツ)

スピノサウルス全身骨格（参考画像）



“肉食の一族”
型破りな進化に迫る

開館25周年記念特別展

獣脚類2025

「フクイ」から探る恐竜の進化

2025.

7.11 ● 金 ▶ 11.3 ● 月・祝

休館日 / 9.10(水)、9.24(水)、10.8(水)、10.22(水)

開館時間 / 午前9時～午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

※夏休み期間(7.19～8.17)は午前8時30分～午後6時まで(入館は午後5時30分まで)

【特別展観覧料】一般 1,800円 / 高・大学生 1,600円 / 小・中学生 1,000円 / 70歳以上 1,000円 ※常設展もご覧いただけます。

主催:「獣脚類2025」実行委員会(福井県立恐竜博物館、株式会社福井新聞社) 共催:NHK福井放送局

特別協力:ハッサンⅡ世カサブランカ大学、浙江自然博物院、シリントーン博物館、Higher Visions GmbH、Prehistoric Minds srls

協力:福井県立大学恐竜学研究所 後援:富山・石川・滋賀 各県教育委員会、FBC、福井テレビ、FM福井

入館には日時指定の観覧券が必要です。当館ホームページから事前に購入してください。

福井県立恐竜博物館

〒911-8601 福井県勝山市村岡町寺尾 51-11
TEL: 0779-88-0001 / FAX: 0779-88-8700
<https://www.dinosaur.pref.fukui.jp>

博物館
HP▶



チケット
購入
ページ▶



獣脚類は、どのようにして多様に進化・繁栄したのか？

「フクイ」で発見された4種の獣脚類から、4つの系統の進化を紐解く。

スピノサウルス科の進化

発掘で歯だけが発見された“スピノサウルス科”はどのような恐竜だったのか？これを解き明かす鍵として、スピノサウルス科の進化を紐解き、中でもスピノサウルスの研究史と近年判明したその新たな姿を紹介する。



最新復元の全身骨格を日本初公開

▼最新復元のスピノサウルス全身骨格

Credit: The Munich Show - Germany

ZONE 2

メガラプトル類の進化

フクイラプトルが属するメガラプトル類の起源は、2通りの仮説の間で揺れ続けている。メガラプトル類の進化に加えて、これらの仮説の中で起源として考えられている、アロサウルス上科とティラノサウルス上科についても紹介する。

日本初公開

アジアティラヌス実物化石



オルニトミモサウルス類の進化

世界初公開

▲ティラノミムス全身骨格

新たに新種として報告されたティラノミムス・フクイエンシスは、オルニトミモサウルス類の中では「異形」とも言えるデインケイルスへと続く系統に位置付けられる。草食性や走行性など、多様なオルニトミモサウルス類の進化を紹介する。

テリジノサウルス類の進化

長年に渡って系統的位置が謎に包まれていたフクイベナートルは、近年、原始的なテリジノサウルス類である可能性が示された。小さな頭に長い首、巨大な爪をもつテリジノサウルスへと続く、その特異な進化の過程を紹介する。

テリジノサウルス手骨格

ZONE 4

特別展観覧料	一般	団体 (30名以上)
一般	1,800円	1,600円
高・大学生	1,600円	1,300円
小・中学生	1,000円	800円
70歳以上	1,000円	800円

※未就学児は無料でご覧いただけます。
※年間パスポートで特別展もご覧いただけます。
※障害者手帳などをご提示の方および付き添いの方1名様につきましては割引が適用され、個人料金の半額になります。

特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。

特別展講演会

講師

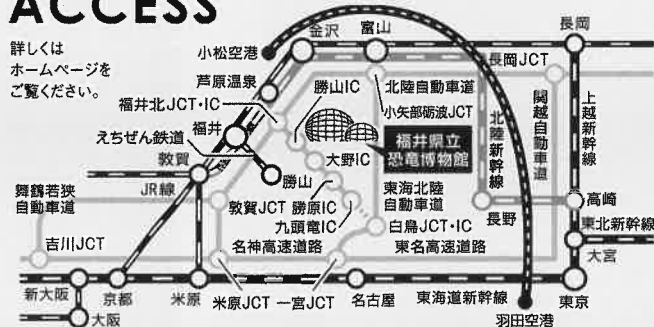
スピノサウルス研究の第一人者
ニザール・イブラヒム博士
(イギリス・ボーンマス大学) (7月予定)

講師

アジアティラヌスの命名を行った研究者
鄭文傑博士 (中国・浙江自然博物院) (10月予定)

ACCESS

詳しくはホームページをご覧ください。



お車で	北陸自動車道【福井北JCT・IC】中部縦貫自動車道勝山IC経由……………約30分 東海北陸自動車道【白鳥JCT・IC】中部縦貫自動車道・油坂峠道路経由……………約90分
レンタカーご利用の場合	福井駅から一般道→中部縦貫自動車道勝山IC経由……………約50分 金沢駅から北陸自動車道【金沢西IC～福井北JCT・IC】中部縦貫自動車道勝山IC経由……………約90分 小松空港から北陸自動車道【安宅スマートIC～福井北JCT・IC】中部縦貫自動車道勝山IC経由……………約60分
鉄道で	福井駅 → えちぜん鉄道 → 勝山駅 → タクシー・バスなど → 恐竜博物館 (約55分) (約10分)
飛行機で	小松空港から連絡バスで福井駅まで。福井駅でえちぜん鉄道にお乗り換えください。

入館には日時指定の観覧券が必要です。 当館ホームページから事前に購入してください。

福井県立恐竜博物館

主催：「獣脚類2025」実行委員会（福井県立恐竜博物館、株式会社福井新聞社）
〒911-8601 福井県勝山市村岡町寺尾 51-11 TEL：0779-88-0001 / FAX：0779-88-8700
<https://www.dinosaur.pref.fukui.jp>

博物館HP▶



チケット購入ページ▶

